



64 シリーズ

インテリジェントインバータ

PCツールマニュアル

64シリーズ

フラッシュROM書き込みソフト

取り扱い説明書

本書は、VFC64基板に実装されているCPU内のフラッシュROMにプログラムを書き込むためのソフトウェア(Vf64from.exe)の操作方法を記す。

本書はVf64from.exeのVer2.30以上を対象とする。

目次	ページ
1. フラッシュROM書き込みソフトの機能	3
2. 動作環境	3
3. インストール	3
4. アンインストール	3
5. プログラムの起動	4
6. モードの説明	5
7. 使用手順	5
8. 表示言語の切り替え	5

1. フラッシュROM書き込みソフトの機能

本ソフトは、次の機能を有する。

1) フラッシュメモリ書き込み機能

VFC64基板に実装されるCPU内のフラッシュROMにプログラムを書き込む。
書き込むプログラムの内容によってBOOTモードとユーザプログラムモードの2種類があり、接続方法が違うので注意。(後で詳しく説明)

2) コンペア機能

フラッシュROMに書き込まれたデータと、motファイルのデータを比較する。

3) ベリファイコード表示機能

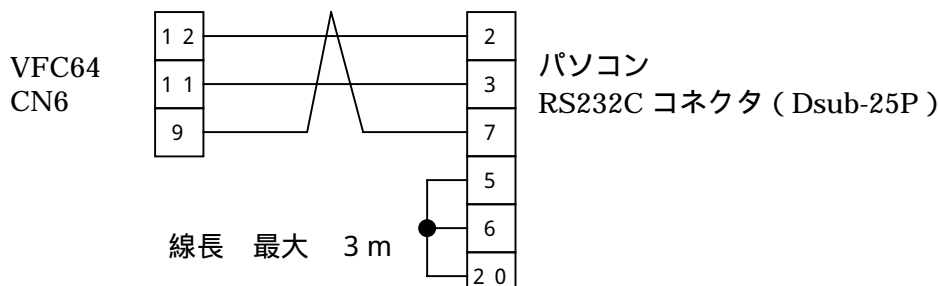
motファイルのベリファイコード(チェックサム)を表示する。

2. 動作環境

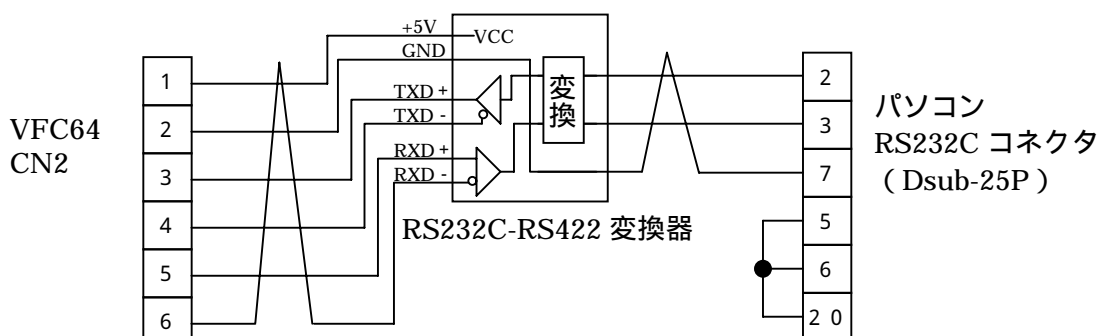
1) WINDOWS 95 (、98) の動作が可能なパソコン

2) コネクタ接続

ユーザプログラムモード、コンペアモードの場合



BOOTモードの場合 (RS232C RS422レベル変換機必要)



3. インストール

セットアップディスクのSetup.exeを実行し、正しいシリアル番号を入力して下さい。

4. アンインストール

コントロールパネル - アプリケーションの追加と削除 から削除してください。

5 . プログラムの起動

Vf64from.exeをダブルクリックすると以下のような画面が表示される。



メニューの説明

ファイル	終了 プログラムの終了
モード選択	ユーザプログラム . . ユーザプログラムモード
	BOOT BOOTモード
	コンペア コンペアモード
	ベリファイコード . . ベリファイコードモード
COM選択	COM 1 . . . RS232CのポートのCOM番号
	COM 2 . . . 通常はCOM 1
	COM 3 . . . パソコンによりその他の場合がある。
	COM 4 . . .
ボーレート選択	4 8 0 0 . . . 通信ボーレートの選択
	9 6 0 0 . . . (コンペアモードの場合は選択できません。)
	1 9 2 0 0 . . . 通常は1 9 2 0 0程度
	2 8 8 0 0 . . . 大きくすれば通信が早くなるがエラー確率が
	3 8 4 0 0 . . . 高くなる。
ヘルプ	バージョン情報 . . バージョン情報の表示

6 . モードの説明

フラッシュROMにプログラムを書き込む場合、次の2つのモードがある。

・BOOTモード

フラッシュROMを全て消去して書き直すモード。本体ソフトを書き込む場合に使用。

シーケンス、スーパーブロックを書き込む場合は次のユーザプログラムモードを使用する。

このモードで書き込む場合にはRS422の信号でコンソール用の端子より書き込む。

この場合、コンソールのケーブルは外しておかなければならない。

・ユーザプログラムモード

フラッシュROMの一部を書き替えるモード

シーケンス、スーパーブロックを書き込む場合に使用する

フラッシュROMに書き込んだデータとファイル(~.mot)を比較する場合はコンペアモードを使用する。コンペアモードの場合、ボーレートはメニューより選択できないので注意。

(VF64本体側で9600bpsに固定されている)

また、 ~.motファイルのベリファイコード(チェックサム)のみ知りたい場合は、ベリファイコードモードを使用する。

7 . 使用手順

BOOTモード、ユーザプログラムモード、コンペアモードの場合

インバータ(VFC64)とパソコンの接続を確認。

ユーザプログラムモード、コンペアモードの場合はVFC64のCN6とパソコンを接続。

BOOTモードの場合はコンソール用端子とパソコンを接続。(RS422変換器必要)

BOOTモードの場合はコンソールのケーブルは外しておく。

(接続方法は2項参照)

メニューより、モード、COM、ボーレイトを選択する。

フラッシュに書き込む、もしくはコンペアするファイルの名前(~.mot)を入力

~.motファイルはあらかじめシーケンスエディタ、スーパーブロックエディタなどで作成しておく。

ユーザプログラムモード、BOOTモードの場合は、インバータの電源を切る
実行ボタンを押す。

・BOOTモードの場合

VF64の電源を切った状態で、VFC64基板上のSW3, SW4をONにし、
VF64の電源を入れるとBOOTモードになる。

通常モードに戻す場合は、VF64の電源を切って、SW3, SW4をOFF
にして、VF64の電源を入れる。

スイッチの切り替え時期は、ソフトウェアを実行すると画面に表示されるので、
それに従うこと。

・ユーザプログラムモードの場合

VF64の電源を切った状態で、VFC64基板上のSW4をONにし、VF64
の電源を入れるとユーザプログラムモードになる。

通常モードに戻す場合は、VF64の電源を切って、SW4をOFFにして、
VF64の電源を入れる。

スイッチの切り替え時期は、ソフトウェアを実行すると画面に表示されるので、
それに従うこと。

・コンペアモードの場合

すぐにコンペアが始まるので画面の指示に従う。

ベリファイコードモードの場合

ファイルを指定し実行するとベリファイコードを表示する。(インバータに接続しなくていい)

8 . 表示言語(日本語、英語)の切り替え

表示言語は CTRL + L によって切り替える。(初期入力画面時のみ有効)

 **東洋電機製造株式会社**

<https://www.toyodenki.co.jp/>

本 社 東京都中央区八重洲一丁目 4-16 (東京建物八重洲ビル) 〒103-0028
産業事業部 TEL. 03 (5202) 8132~6 FAX. 03 (5202) 8150

TOYODENKI SEIZO K.K.

<https://www.toyodenki.co.jp/en/>

HEAD OFFICE: Tokyo Tatemono Yaesu Bldg, 1-4-16 Yaesu, Chuo-ku,
Tokyo, Japan ZIP CODE 103-0028
TEL: +81-3-5202-8132 -6
FAX: +81-3-5202-8150

サービス網

東洋産業株式会社

<https://www.toyosangyou.co.jp/>

本 社 東京都大田区大森本町一丁目 6-1 (大森パークビル) 〒143-0011
TEL. 03 (5767) 5781 FAX. 03 (5767) 6521

本資料記載内容は予告なく変更することがあります。ご了承ください。

QG17018E_20181201